

Title	慶應法科懇話会
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学大学院法務研究科
Publication year	2004
Jtitle	慶應法学 (Keio law journal). No.1 (2004. 12) ,p.411- 412
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	記事
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AA1203413X-20041215-0411

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

【記事】

慶應法科懇話会

第1回例会

日 時 4月30日(金)4時30分～

場 所 東別館一階会議室

報告者 金山直樹

テーマ 「個人保証改正の動き」

法制審議会における個人保証改正の動きについて法制審議会での審議が始まった「個人保証」の改正論議について、その方向性と問題点について報告し、議論した。終了後、懇親会。

第2回例会

日 時 5月31日(月)4時30分～

場 所 東別館一階会議室

報告者 駒村圭吾

テーマ 「酒類販売免許制の現在」

流動する酒税法における酒類免許販売制に関して、最高裁判例の分析と違憲審査基準をめぐる議論の動向をサーベイし、同制度の今後について展望した。

第3回例会

日 時 6月14日(月)5時～

場 所 新研究室745号室(法学部第二共同研究室)

報告者 池田真朗

テーマ 「電子債権論 経済産業省「金融システム化に関する検討小委員会報告書(案)」の紹介を兼ねて」

産業構造審議会の産業金融部会に設置された小委員会で検討された電子債権の問題は、ここ数年で立法化される可能性がある。この電子債権についての実務上の要請および理論的問題について報告し、議論した。報告内容の詳細は、その後銀行法務21・634号(2004年7月号)24頁以下および

NBL790号（2004年8月1日号）35頁以下に論文として発表した。終了後、懇親会。

第4回例会

日時 8月2日(月)4時30分～

場所 東別館一階会議室

報告者 江口公典

テーマ 「独占禁止法上の刑事罰に関する一考察 『従業者』処罰（95条）をめぐって」

終了後、懇親会。